

東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：5 月 27 日～6 月 26 日）

平成 12 年 5 月 26 日 仙台管区気象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「高い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 40％です。「低い」の可能性は 10％と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は 40％です。「少ない」の可能性は 10％と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は 40％です。「多い」の可能性は 10％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、前半は低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。後半は前線や低気圧の影響を受けやすく、天気のぐずつく時期があるでしょう。平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 17 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 28～29 日にかけてと期間のおわりに、気圧の谷の影響で天気のくずれる所があるでしょう。その他の日は、おおむね晴れる見込みです。
(5 月 27 日～6 月 2 日) なお、28 日は南からの湿った気流の影響で、強い雨となるでしょう。
平均気温は高い見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

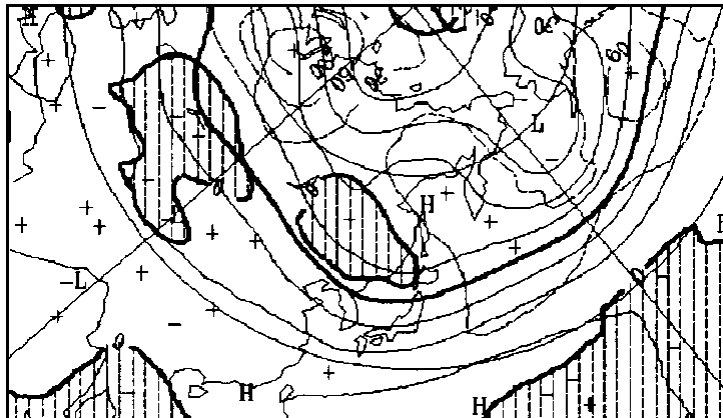
2 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。
(6 月 3 日～6 月 9 日) オホーツク海高気圧の出現があって、気温の変動が大きい見込みです。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

3～4 週目…………… 前線や低気圧の影響を受け、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。
(6 月 10 日～6 月 23 日)

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 7 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴 (アンサンブル平均天気図)

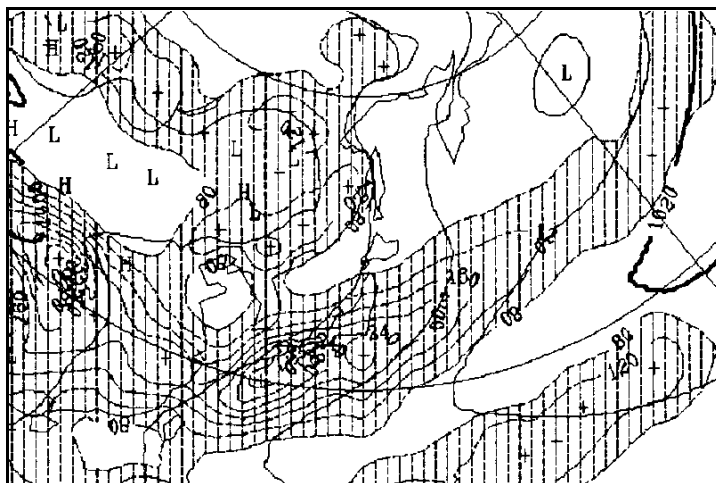


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近は弱い正偏差に覆われる。正偏差の中心は東海上からオホーツク海。上空の流れは、やや西谷傾向で、南から暖かく湿った空気が入りやすい。

週別(図略)では、1 週目は月別とほぼ同様の傾向を示す。2 週目は、北緯 60 度以北は正偏差で、日本付近は負偏差となっており、オホーツク海高気圧が出現する時期のある見込み。3～4 週目は、オホーツク海付近に気圧の尾根があるが、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、日本付近は広く正偏差に覆われる。



月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・地上気圧と降水量

月平均でみると、北緯 30 度以南は太平洋高気圧が張り出し、オホーツク海付近は弱い高圧部となっている。降水域は本州南岸沿いと沿海州からバイカル湖方面に伸びるものがある。

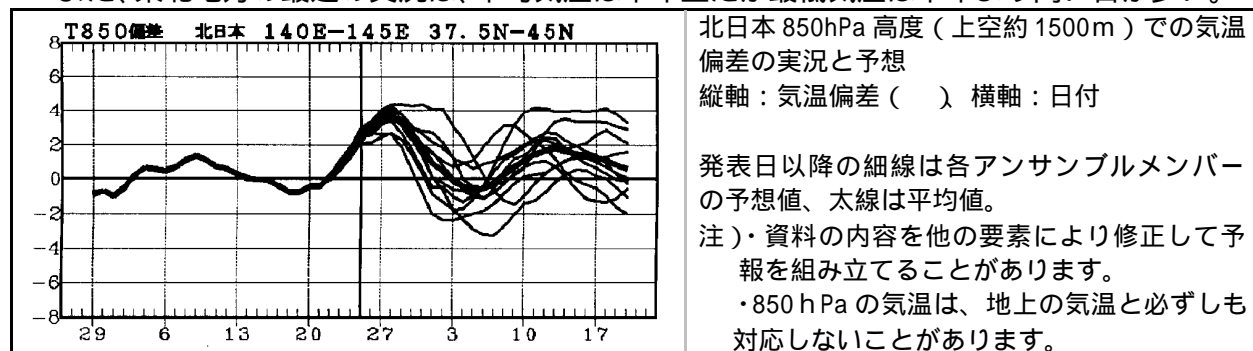
週別(図略)では、1 週目は日本付近には弱い降水域がかかる。2 週目は本州の南海上を中心とする降水域の一部が日本にかかるが、東北地方には強い降水域はかからない。オホーツク海付近に高圧部が見られる。3～4 週目は、日本の南の太平洋高気圧が北に勢力を強め、日本の南岸沿いの降水域は北上し、本州南岸から東北地方の南部に強い降水域がかかる。

3．北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、予報期間は1週目ははじめが高極、2週目はじめが低極。その後平年より高い状態で推移する見込み。メンバー間のばらつきは小さく、信頼度は高い。

なお、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850hPa の気温平年差が負偏差の場合は2度程度高めに推移している。

また、東北地方の最近の実況は、平均気温は平年並だが最低気温は平年より高い日が多い。

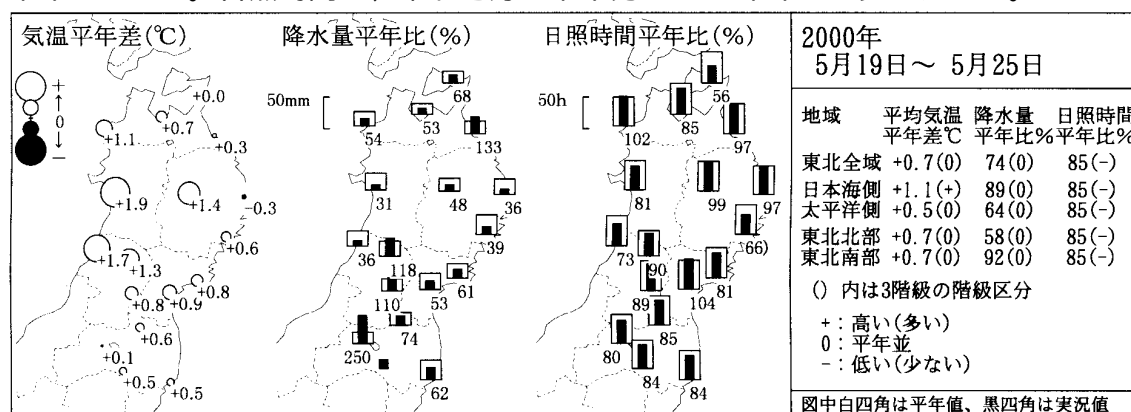


注：1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4．最近1週間（5月19日～5月25日）の天候の経過

この期間、天気は短い周期で変化した。19日は高気圧に覆われて、おおむね晴れた。20日から21日にかけては本州の南岸を通過した低気圧の影響で東北南部を中心に雨となった。22日には、東北地方の北を気圧の谷が通り、東北日本海側北部で雨となるところもあったが、その他の所はおおむね晴れた。23日は高気圧に覆われ、おおむね晴れた。24日は上空に寒気を伴った低気圧が東北地方を通過したため、全域で雨となり、雷や降雹となるところもあった。25日は再び高気圧に覆われ晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差+0.7℃と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比74%と平年並だった。日照時間は、東北地方で平年比85%と平年より少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）